

特集 天体観測のススメ

夜空を見上げたときに「あの星はどんな星だろう」と思ったことはありませんか？

清須市は天体ドームを公共施設として保有する数少ない自治体です。

そこで、今回は専門家の解説付きで天体観測をすることができる講座をご紹介します。

清須市の天体ドームってどこにあるの？

■ 場所

にしび創造センター 4階
名鉄下小田井駅下車徒歩3分
(西枇杷島町小田井一丁目
12番地1)
駐車場あり



施設概要はこちら ▶

■ 天体望遠鏡

口径20cm屈折望遠鏡 / 焦点距離2400mm

条件が合えば、月のクレーター、惑星や星雲星団もしっかりと観察できます。

天体ドームで観測するには、どうすればいいの？

次の3つの講座で、天体ドームへ入室できます。

講座名

- ①天文教室
- ②親子で楽しく学ぶ天文教室
- ③天文開放



詳しくは、右下の「講座への参加方法」をご覧ください。



木星とガリレオ衛星

◀ スマートフォンを天体望遠鏡に接続して撮影した木星。大気上空の気流の影響でぼんやりしていますが、複数の衛星も確認できます。

同様にM42オリオン座大星雲を撮影したもの。▶ 恒星(太陽のように自ら光る星)が生まれようとしている途中だそうです。



M42オリオン座大星雲



木星



天文開放(1/24開催)の様子

天体ドームで行う全ての講座を担当されている
川村 吉弘 先生 にお話を伺いました。

●複数の講座がありますが、それぞれの特徴は？

- ①**天文教室**: 講義と天文工作や実験の講座です。
- ②**親子で楽しく学ぶ天文教室**:
宇宙のお話、簡単な天文工作、実験を行います。
- ③**天文開放**: 季節の星座、惑星等を望遠鏡で見てもらいます。

●2025年(3月以降)、注目の天文ニュースは？

- [8/13]ペルセウス座流星群**: 1時間に30個程度
- [9/8]3年ぶりの皆既月食**: 明け方前の1時半～4時頃
- [12/14]ふたご座流星群**: 1時間に50個程度
※月明かりがないため、晴天時はよく見えます。
- [春・秋]土星の輪が見えなくなる現象**: 約15年に一度の現象

●先生にとって、天体観測の魅力とは？

未解明で不思議なことだらけですから、ロマンを感じるところですね。星の色彩や形状も様々で、撮影する楽しみも尽きません。

そして、こうした講座を通じて、参加者の皆さんに星の観測を楽しんでもらえる瞬間も嬉しいひとときです。

●天体観測初心者の方へ、一言メッセージを

よく見える身近な星の名前をひとつずつでも覚えると、見える世界が変わって人生が少し豊かになりますよ。



■プロフィール

川村 吉弘 先生(元理科教諭)
昭和60年代に旧西枇杷島町で始めた有志の天文教室「星の子クラブ」以来、生涯学習講座の天文講座を40年近く担当。

講座への参加方法

	①天文教室	②親子で楽しく学ぶ天文教室	③天文開放
時	毎月1回19:00～20:30 (6月～翌3月:全10回)	【未就学児～小学3年】7月に2回 【小学4年～6年】8月に2回	毎月1回(全12回)
内	「生涯学習講座のご案内」(広報清須4月号に折込)、又は市ホームページをご覧ください。		毎月の広報清須「お知らせ」欄、市ホームページでご案内
定	15名	親子各10組	なし(来館者多数の場合、入場規制あり)
¥	4,000円	無料	無料
申	「生涯学習講座のご案内」(広報清須4月号に折込)又は市ホームページ(4/4付で記事を掲載予定)をご覧ください。		・ 申込不要
他	- 応募多数の場合は抽選で決定します。 晴天時は天体観測も実施します。		- 小さなお子さん、家族連れも参加可能ですが、中学生以下の方は保護者同伴でお願いします。 - 天候により中止する場合があります。開催の有無は生涯学習課へ当日の16:00以降にお問合せください。

今月の天文解放

時	3/28(金) 19:00～20:30		川村先生の天文情報は、こちらからご覧いただけます【市天体ドームInstagram】(今後、随時更新) ▶	
場	にしび創造センター4階 天体ドーム			
内	春の星座と火星			